

建築基準法 総合判定表

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

■ 建物情報

屋根の重さ	軽い屋根	重い屋根	風力区分	一般地域	強風地域
-------	------	------	------	------	------

■ 壁量計算

建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項により軸組長さを検討する方法

階	方向	地震力			風圧力			存在壁量 (cm)	壁量充足率		判定 H $\geq$ 1.00 かつ J $\geq$ 1.00	壁量計算 判定
		床面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	見付面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)		地震力	風圧力		
		A	B	C=A×B	D	E	F=D×E	G	H=G÷C	J=G÷F		
2	X	59.63	15	894.45	18.79	50	939.50	1274.00	1.42	1.35	○	適合
	Y			894.45	23.33		1166.50	1820.00	2.03	1.56	○	
1	X	82.81	29	2401.49	40.88	50	2044.00	3094.00	1.28	1.51	○	
	Y			2401.49	59.57		2978.50	3094.00	1.28	1.03	○	

・床面積、見付面積: “*”は編集値(任意に入力した値)を使用
 ・地震力の必要壁量: 「地盤割増」「必要壁量割増」を含みます
 (地盤割増: 1.00、必要壁量割増: 1.00)

・判定: 「壁量充足率(地震力・風圧力)」がともに1.00以上 → ○
 「壁量充足率(地震力・風圧力)」の一方でも1.00未満 → ×
 ・壁量計算判定: 「判定」がすべて“○”の場合 → 適合

■ 偏心率

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」

階	方向	偏心率	判定 偏心率 $\leq$ 0.30	偏心率判定
2	X	0.04	○	適合
	Y	0.02	○	
1	X	0.14	○	
	Y	0.15	○	

● 四分割法と偏心率の判定について

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」では、「四分割法」または「偏心率」のいずれかの判定が適合となること、とされています。

四分割法判定=“適合” または 偏心率判定=“適合”

・判定: 「偏心率」が0.30以下 → ○
 「偏心率」が0.30超 → ×
 ・偏心率判定: 「判定」がすべて“○”の場合 → 適合
 「判定」がひとつでも“×”の場合 → 不適合

■ 四分割法

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」

階	方向	位置	床面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率	充足率 判定	壁率比	壁率比 判定	四分割法 判定
			①	②	③=①×②	④	⑤=④÷③	⑤ $>$ 1.00	⑥=⑤小÷⑤大	⑥ $\geq$ 0.5	⑤or⑥=○
2	X	上	16.57	15	248.55	546.00	2.19	○	-	-	適合
		下	13.25	15	198.75	546.00	2.74	○	-	-	
	Y	左	9.94	15	149.10	728.00	4.88	○	-	-	
		右	16.57	15	248.55	546.00	2.19	○	-	-	
1	X	上	23.19	29	672.51	1456.00	2.16	○	-	-	適合
		下	16.57	29	480.53	728.00	1.51	○	-	-	
	Y	左	17.40	*11	191.40	364.00	1.90	○	-	-	
		右	23.19	29	672.51	1092.00	1.62	○	-	-	

・必要壁量: 「地盤割増」を含みます。(地盤割増: 1.0)
 ・充足率判定: 「充足率判定」が“×”の場合は、その方向の壁率比判定を行います。
 ・四分割法判定: 「充足率判定」または「壁率比判定」が“○”の場合 → 適合
 ・係数: “*”がついている箇所は平屋建てまたは下屋の係数を使用。

■ N値計算

平成12年建設省告示第1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」

N	告示表三	金物名	金物数量(箇所)		
			1階	2階	計
0	(い)	短ほぞ差し及びかすがい打ち	44	32	76
~0.65	(ろ)	長ほぞ差し込み栓又はかど金物CP-L	36	40	76
~1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T	22	6	28
~1.4	(に)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘なし)	4	2	6
~1.6	(ほ)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘あり)	0	1	1
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物	0	0	0
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物	2	1	3
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物	0	0	0
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物	0	0	0
~5.6	(ぬ)	15kN引き寄せ金物×2	0	0	0
5.6超	(一)		0	0	0

※金物数量は柱頭で1箇所、柱脚で1箇所と集計しています

日付：2020年09月30日 14:21:37

【建築基準法】壁量計算

建物名 伏図次郎【2階】

壁量計算表

存在壁量明細表

壁量計算平面図

見付面積根拠図

見付面積計算表

床面積根拠図

床面積計算表

■注意事項

・建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項により軸組長さを検討する方法に準拠した計算を行います。

株式会社インテグラルー級建築士事務所

〒305-0818

茨城県つくば市学園南2丁目7番地

TEL:029-850-3331 FAX:029-850-3334

<https://www.homeskun.com/>

注意事項



ホームズ君「構造EX」(以下、本ソフトウェア)は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している「木造建築物電算プログラム認定」において、関係法令や評価方法基準に準拠しているとして、認定書(認定番号:P04-02)の交付を受けております。

認定対象の計算書・図面には用紙右上に「木造建築物電算プログラム認定」の認定番号が印字されます。

【認定の範囲】

本ソフトウェアの認定の範囲を下表にて示します。本ソフトウェアの全機能が認定対象ではありませんのでご注意ください。本ソフトウェアの利用者、並びに本ソフトウェアの計算結果を確認する立場の方は、認定の範囲を十分理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

▼本ソフトウェアの全機能における認定の範囲

●: 認定対象 ー: 認定対象外

分類	認定 範囲	機能	関係法令等
建築基準法	●	壁量計算	建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	ー	シックハウス	
住宅性能表示 構造の安定	●	性能表示壁量計算	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3) 木 ①
	●	床倍率	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3) 木 ②③
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	●	接合部(通し柱、外周横架材)	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3) 木 ④
	●	横架材のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)木、1-2(3)木、1-4(3)木
	●	基礎のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)木、1-2(3)木、1-4(3)木
住宅性能表示 その他	ー	火災時の安全	
	ー	劣化の軽減	
	ー	維持管理	
	ー	温熱環境	
	ー	空気環境	
	ー	光・視環境	
	ー	音環境	
	ー	高齢者	
	ー	防犯	
その他機能	ー	伏図作成機能	
	●	梁せい算定機能	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)木、1-2(3)木、1-4(3)木
	ー	等級ナビ	
	ー	3D地震被害想定	
	ー	構造安全性チェック	

【木造建築物電算プログラム認定とは】

公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施しているプログラム認定制度です。

目的は、木造建築物電算プログラムに係る認定を行うことを通じて、木造建築物の品質性能および生産性の向上に寄与し、もって木造建築物の関連産業の発展と国民生活の向上に貢献することとなっています。

認定にあたっては、学識経験者で構成する「木造建築物電算プログラム認定委員会」が設置され電算プログラムの適切さ(根拠図書との準拠性、プログラム処理の妥当性、誤用防止策等)や運用の適切さ(メンテナンスや苦情処理体制等)について審査が行われます。

注意事項



P04-02

【建築基準法の計算上の注意点】

- ・ 建築基準法の各判定（建築基準法壁量計算、偏心率、四分割法、柱頭柱脚接合部、筋かい接合部）を行う際の条件や注意点については、各帳票の表紙に注意事項として明記しています。
- ・ 建築基準法の各判定を行う際の耐力壁の壁倍率の扱いは以下の通りです。
 - 建築基準法壁量計算：上限5.0倍（合計値） ○偏心率 ：上限7.0倍（合計値）
 - 四分割法 ：上限5.0倍（合計値） ○柱頭柱脚接合部：上限7.0倍（合計値）
- ・ 建築基準法壁量計算においては設計者が任意に耐力壁を追加することができます。追加した耐力壁は帳票『存在壁量明細表』において国土交通大臣の認定番号が明記されるので確認ください。
- ・ 柱頭柱脚接合部および筋かい接合部判定においては、設計者が任意に接合金物を追加することができます。追加した接合金物は『使用金物一覧』において、木造建築物用接合金物認定などの認定番号が明記されるので確認ください。

壁量計算表

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

■ 建物概要

建物コード	3
建物名称	伏図次郎【2階】
備考	
入力者	インテグラル
建築地名	茨城県つくば市

床面積 (㎡)	2階	59.63
	1階	82.81
屋根の重さ	軽い屋根	
軟弱地盤割増	割増なし	
風力区分	一般地域(50cm/㎡)	

■ 地震力による必要壁量計算

階	床面積 (㎡)	地震力用係数 (cm/㎡)	地盤割増	必要壁量割増	必要壁量 (cm)
	A	B	B1	B2	C=A×B×B1×B2
2	59.63	軽い屋根	1.00	1.00	894.45
1	82.81				2401.49

・床面積: 1階に「オーバハング」「ポーチ」および「バルコニー」の面積は含みません。
「小屋裏収納等」は各階面積に含みます。
「*」が付いている数値は面積編集により変更された面積

・地震力用係数: 地震力に対する床面積あたりの必要壁量(cm/㎡)

※右表参照

・地盤割増: 特定行政庁が建築基準法施行令第88条第2項の規定によって指定した区域内
における場合は1.5とします。
(建築基準法施行令第46条)

・必要壁量割増: 壁量の割増係数(任意設定)。1.00以上1.50以下の範囲で設定を行うことができます。

<地震力用係数表>

	軽い屋根	重い屋根
2階	15	21
1階	29	33
平屋	11	15

■ 風圧力による必要壁量計算

階	方向	見付面積 (㎡)	風圧力用係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)
		D	E	F=D×E
2	X	18.79 イ	50	939.50
	Y	23.33 口	50	1166.50
1	X	40.88 ハ	50	2044.00
	Y	59.57 ニ	50	2978.50

・見付面積: 『見付面積計算表』の(イ・ロ・ハ・ニ)参照

「*」が付いている数値は面積編集により変更された面積

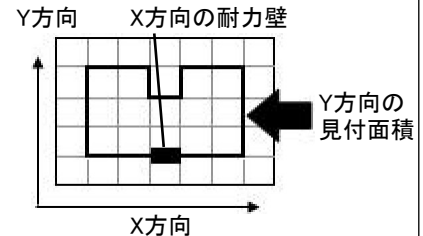
・風圧力用係数: 風圧力に対する見付面積あたりの必要壁量

・特定行政庁が特に強い風が吹くと定めた地域: 51~75(cm/㎡)

・その他の地域: 50(cm/㎡)

●見付面積の方向について

X方向の必要壁量を求める際は
Y方向の見付面積を用います。



■ 壁量判定表(壁量充足率)

階	方向	必要壁量		存在壁量 (cm)	壁量充足率		判定 H≥1.00 かつ J≥1.00
		地震力 (cm)	風圧力 (cm)		地震力	風圧力	
		C	F		H=G÷C	J=G÷F	
2	X	894.45	939.50	1274.00	1.42	1.35	○
	Y	894.45	1166.50	1820.00	2.03	1.56	○
1	X	2401.49	2044.00	3094.00	1.28	1.51	○
	Y	2401.49	2978.50	3094.00	1.28	1.03	○

・存在壁量: 壁倍率×壁長 ※『存在壁量明細表』を参照

・壁量充足率: 存在壁量÷必要壁量(地震力・風圧力)

・判定: 壁量充足率(地震力、風圧力)がともに1.00以上の場合 → ○
壁量充足率(地震力、風圧力)が一方でも1.00未満の場合 → ×

■ 壁量計算判定

壁量充足率の各階、各方向の判定がすべて“○”の場合 → 適合

壁量充足率の各階、各方向の判定がひとつでも“×”の場合 → 不適合

壁量計算判定

適合

■ コメント

使用耐力壁一覧

日付:2020年09月30日 14:21:37

建物コード:000003

建物名:伏図次郎【2階】

材種名	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		倍率
			種類	間隔 (mm)	
筋かい(45×90)	—	—	—	—	2.00

存在壁量明細表 (1階X方向)

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱 1	柱 2	部位名	材種名	注意事項	壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (cm)	備考
					a	b	G=a×b	
1	2	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
2	3	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
6	7	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
9	10	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
11	12	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
22	23	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
32	33	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
33	34	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
35	36	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
44	45	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
49	50	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
51	52	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
52	53	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
					存在壁量合計		3094.00	

■表記の説明

「壁倍率」: # → 同位置に複数の耐力壁が存在する場合、耐力壁の壁倍率の合計が上限値の5.0倍となるように低減

「備考」: ※ → 斜め壁の直交成分を表示

「網掛け」:  → 設計者が任意に追加した材種の行は網掛けで表示されます。

存在壁量明細表 (1階Y方向)

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱 1	柱 2	部位名	材種名	注意事項	壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (cm)	備考
					a	b	G=a×b	
1	13	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
37	43	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
3	15	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
15	20	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
39	45	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
5	16	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
31	40	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
46	49	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
8	24	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
9	25	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
34	41	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
12	18	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
36	42	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
47	54	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
					存在壁量合計		3094.00	

■表記の説明

「壁倍率」: # → 同位置に複数の耐力壁が存在する場合、耐力壁の壁倍率の合計が上限値の5.0倍となるように低減

「備考」: ※ → 斜め壁の直交成分を表示

「網掛け」:  → 設計者が任意に追加した材種の行は網掛けで表示されます。

存在壁量明細表 (2階X方向)

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱 1	柱 2	部位名	材種名	注意事項	壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (cm)	備考
					a	b	G=a×b	
1	2	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
4	5	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
8	9	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
27	28	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
35	36	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
37	38	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
40	41	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
					存在壁量合計		1274.00	

■表記の説明

「壁倍率」: # → 同位置に複数の耐力壁が存在する場合、耐力壁の壁倍率の合計が上限値の5.0倍となるように低減

「備考」: ※ → 斜め壁の直交成分を表示

「網掛け」:  → 設計者が任意に追加した材種の行は網掛けで表示されます。

存在壁量明細表 (2階Y方向)

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱 1	柱 2	部位名	材種名	注意事項	壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (cm)	備考
					a	b	G=a×b	
1	10	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
17	20	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
21	29	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
33	35	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
7	16	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	182.00	364.00	
16	18	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
9	11	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
28	30	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
34	41	(筋かい)	筋かい(45×90) シングル		2.00	91.00	182.00	
存在壁量合計							1820.00	

■表記の説明

「壁倍率」: # → 同位置に複数の耐力壁が存在する場合、耐力壁の壁倍率の合計が上限値の5.0倍となるように低減

「備考」: ※ → 斜め壁の直交成分を表示

「網掛け」:  → 設計者が任意に追加した材種の行は網掛けで表示されます。

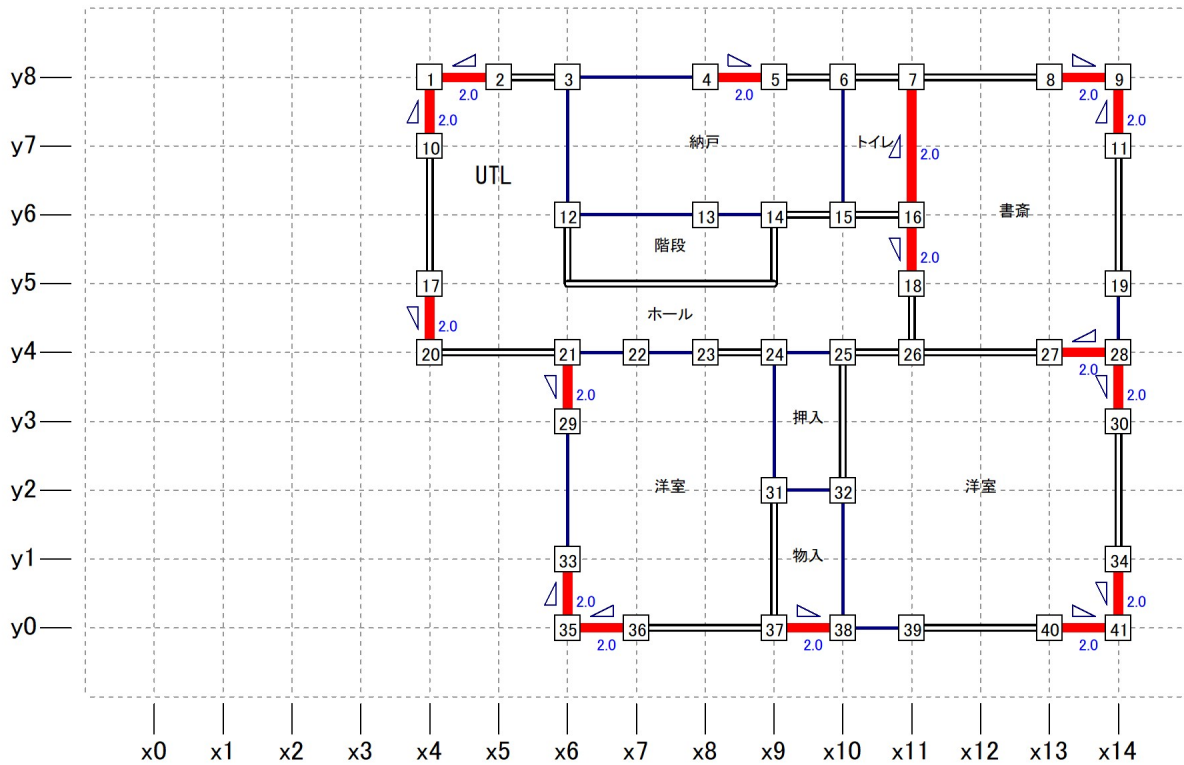
壁量計算平面図

日付: 2020年09月30日 14:21:37

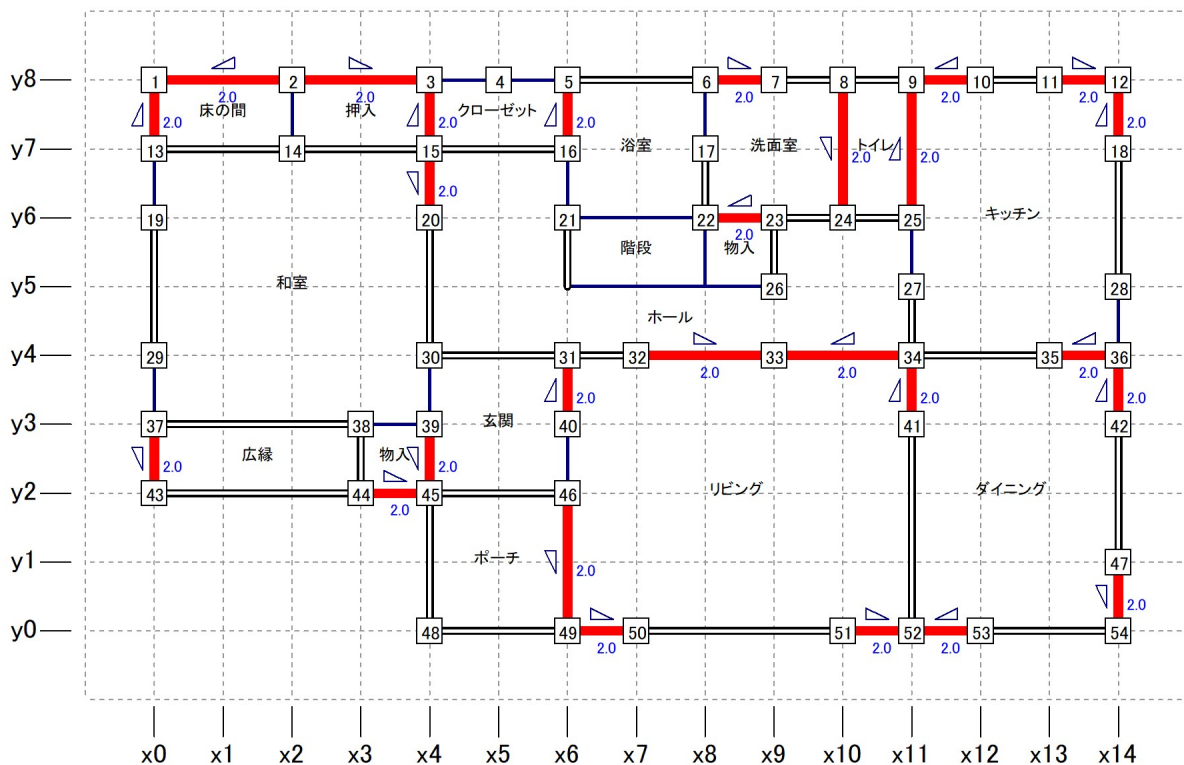
建物コード: 000003

建物名: 伏岡次郎【2階】

2階



1階



縮尺 1/100

凡例

- 一般壁
- 開口部
- 面材耐力壁
- 筋かいダブル
- 筋かいシングル
- 柱頭
- 柱脚
- 筋かいシングル
- 小屋裏収納等

[n] 柱

見付面積根拠図

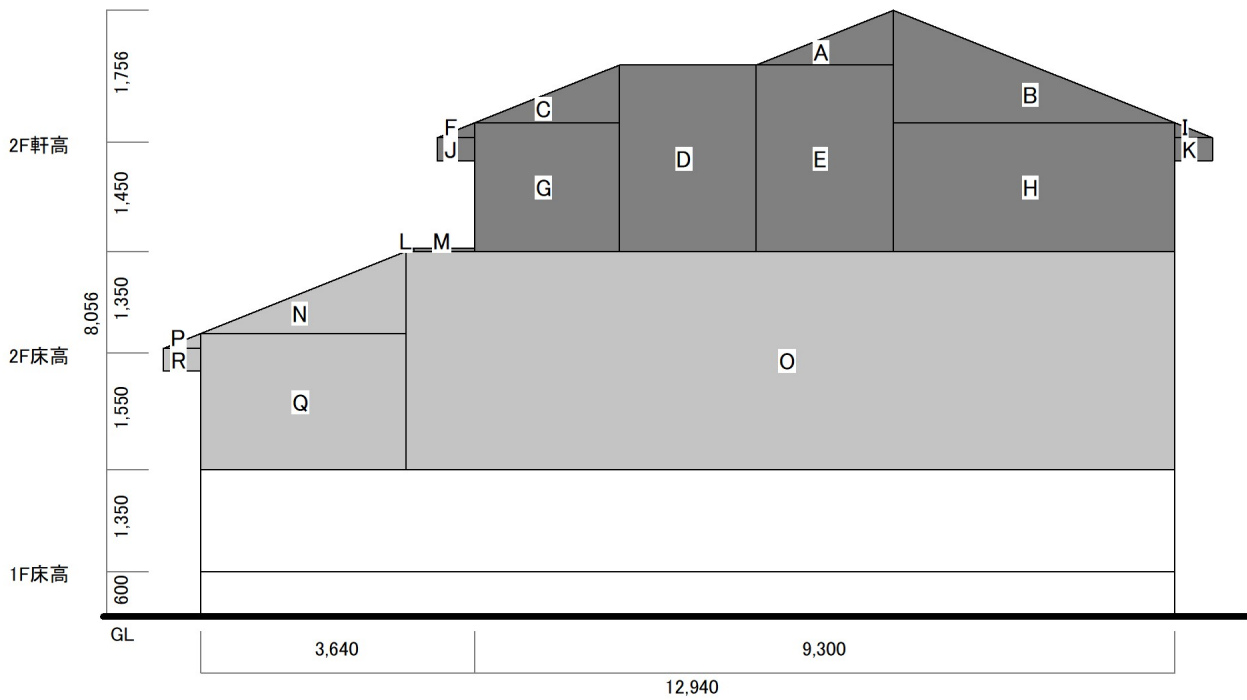
日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

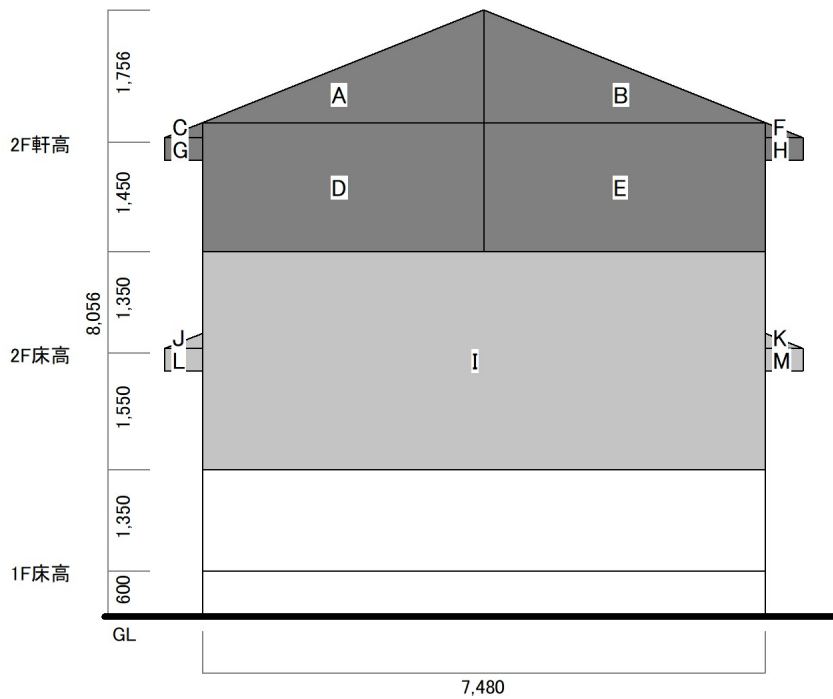
■X方向

縮尺 1/100



■Y方向

縮尺 1/100



凡例

■ 1、2階見付面積加算範囲

■ 1階見付面積加算範囲

壁厚さ: 100mm 屋根厚さ: 300mm

※表示されている建物形状は、壁芯より壁厚さ、屋根厚さ分外側に広げた形状です。

見付面積計算表(X方向)

Y方向の壁量計算用

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

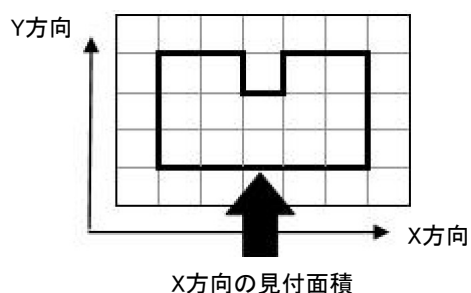
建物名: 伏図次郎【2階】

区画	計算式	面積 (m ²)
A	$1.820 \times 0.728 \div 2$	0.6624800
B	$3.740 \times 1.496 \div 2$	2.7975200
C	$1.920 \times 0.768 \div 2$	0.7372800
D	1.820×2.478	4.5099600
E	1.820×2.478	4.5099600
F	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
G	1.920×1.710	3.2832000
H	3.740×1.710	6.3954000
I	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
J	0.500×0.300	0.1500000
K	0.500×0.300	0.1500000
L	$0.105 \times 0.042 \div 2$	0.0022050
M	0.810×0.042	0.0340200
N	$2.725 \times 1.090 \div 2$	1.4851250
O	10.215×2.900	29.6235000
P	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
Q	2.725×1.810	4.9322500
R	0.500×0.300	0.1500000

■計算結果

階	計算式	見付面積 (m ²)	記号
2階	A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M	23.33	口
1階	A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N+O+P+Q+R	59.57	二

■見付面積の方向



見付面積計算表(Y方向)

X方向の壁量計算用

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

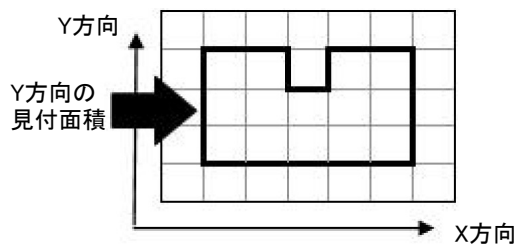
建物名: 伏図次郎【2階】

区画	計算式	面積 (m ²)
A	$3.740 \times 1.496 \div 2$	2.7975200
B	$3.740 \times 1.496 \div 2$	2.7975200
C	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
D	3.740×1.710	6.3954000
E	3.740×1.710	6.3954000
F	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
G	0.500×0.300	0.1500000
H	0.500×0.300	0.1500000
I	7.480×2.900	21.6920000
J	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
K	$0.500 \times 0.200 \div 2$	0.0500000
L	0.500×0.300	0.1500000
M	0.500×0.300	0.1500000

■計算結果

階	計算式	見付面積 (m ²)	記号
2階	A+B+C+D+E+F+G+H	18.79	イ
1階	A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M	40.88	ハ

■見付面積の方向



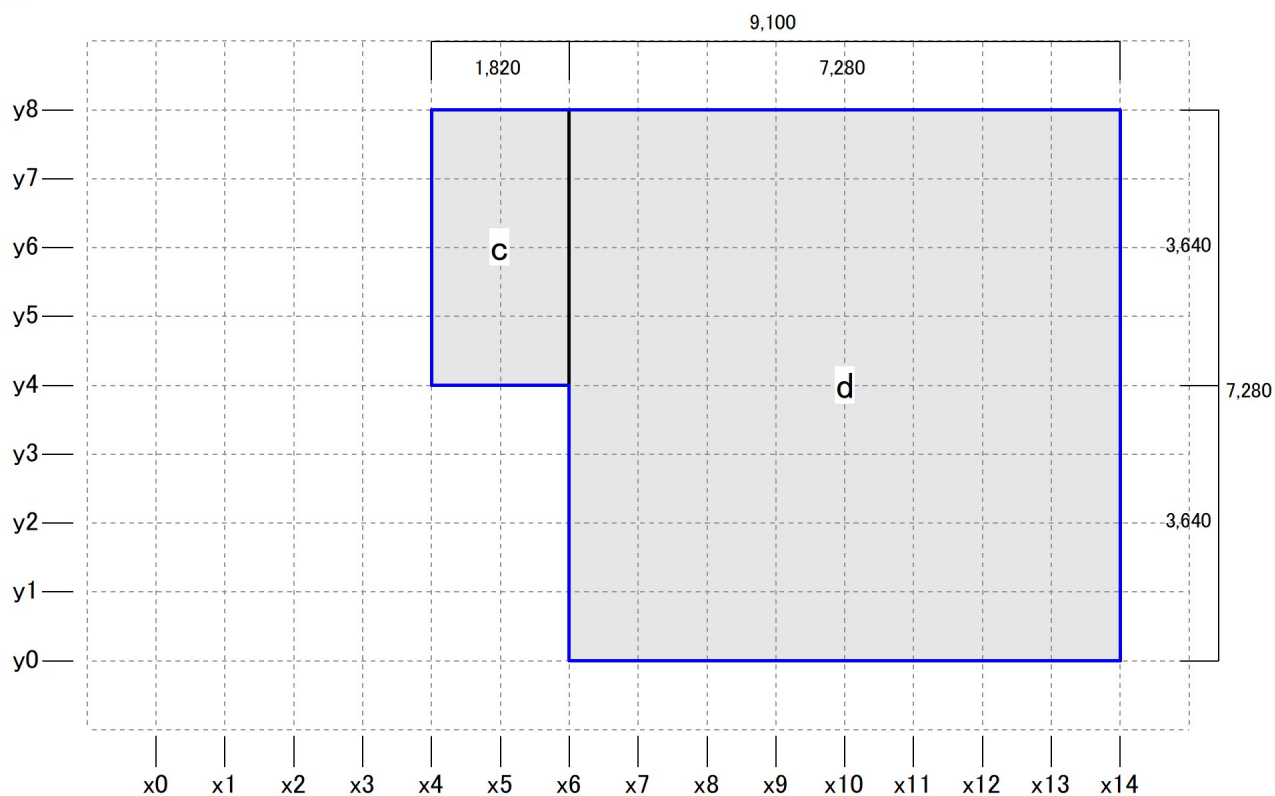
床面積根拠図

日付: 2020年09月30日 14:21:37

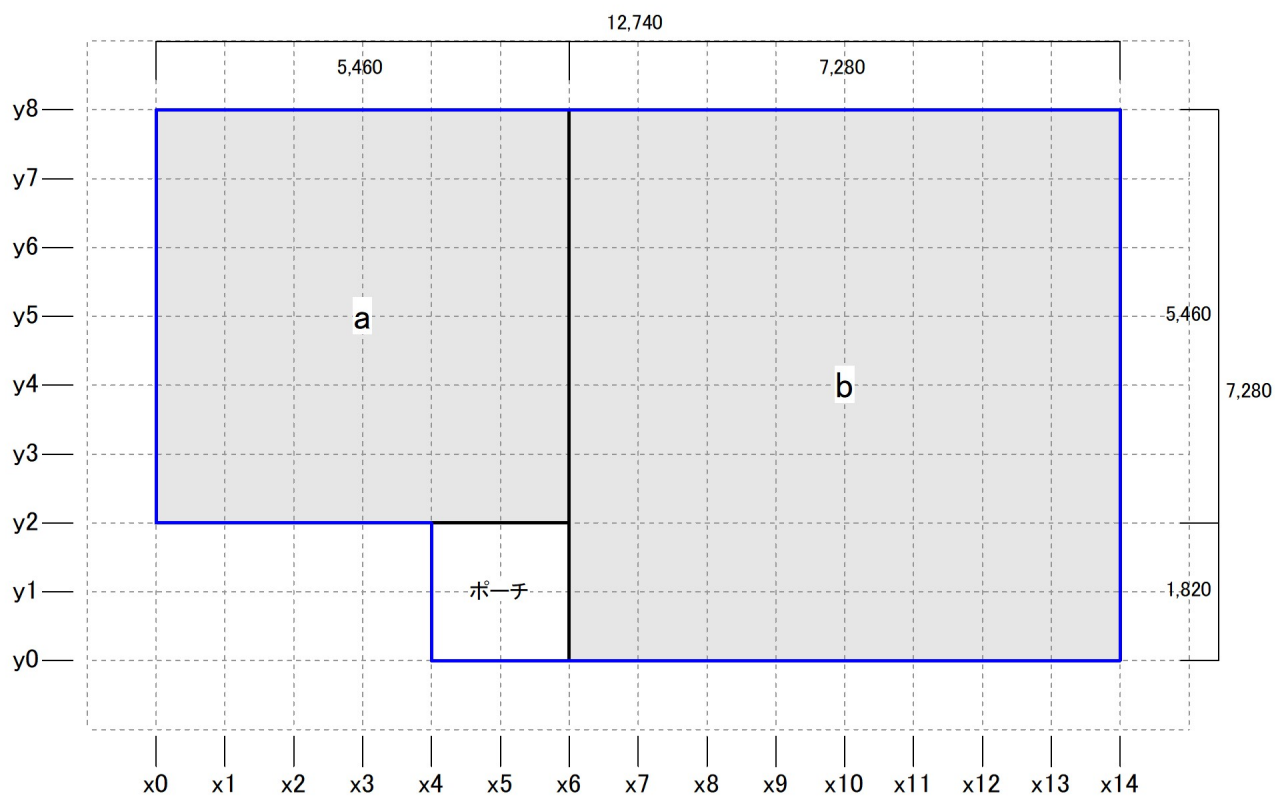
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

2階



1階



縮尺 1/100

凡例

床面積区画

a b c 床面積区画名

床面積計算表

日付: 2020年09月30日 14:21:37

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

■ブロック別床面積計算表

[1階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	5.460	5.460	29.8116000	
b	7.280	7.280	52.9984000	

[2階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
c	3.640	1.820	6.6248000	
d	7.280	7.280	52.9984000	

■壁量計算用床面積

階	部位	計算式	壁量計算用床面積 (㎡)
2	床	c+d	59.63
	小屋裏収納等		0.00
	合計	(2階床)+(2階小屋裏収納等)×1.4÷2.1	59.63
1	床	a+b	82.81
	小屋裏収納等		0.00
	合計	(1階床)+(1階小屋裏収納等)×1.4÷2.1	82.81

■記号の説明

「備考」:

- ◇ → 小屋裏収納等範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1)
- ◆ → 小屋裏収納等重複範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1×2)
- ▲ → 三角形区画

立面図

日付: 2020年09月30日 14:21:37

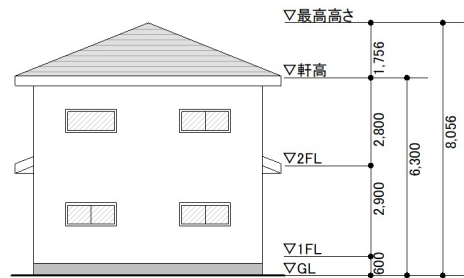
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

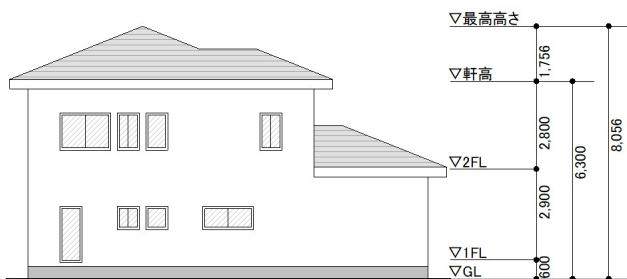
南立面図



東立面図



北立面図



西立面図

